

友だちとつながりあう児童を育む



～体育科や健康・体力を高める遊びを通して～

岩美町立岩美北小学校

岩美北小学校では、もっと子ども同士にかかわりを持たせたいという願いから、体育科の学習や、健康・体力を高めるための遊びを通して、友だちとつながりあう力を育むことをめざした研究に取り組んでいます。

つながりを持たせる授業

◆体育科の学習の充実

- あいさつ、聞く態度、話し方などの学習規律を大切にする
- 身につけさせたい学習内容を教師がしっかりと持ち、「本時のめあて」を児童と共有し、主体的な学びを促す
- できる喜び、活動意欲を高める学習内容を工夫する
- 話し合い活動を有効に位置づけた学習過程にする
- 柔軟性、バランス感覚を養う「岩美っ子体操」を取り入れる

気持ちを一つにして、体操しています。



つながりあうことで

つながりを生み出す環境

◆健康・体力を高める遊び

ペットボトルスロー



一輪車挑戦コース

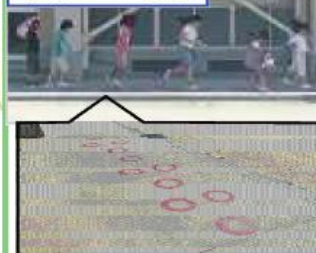


相撲の土俵



遊びのルールを決めるなど、みんなで楽しもうとする態度が生まれています。

ケンパーとび



ミニゴール



ボールタッチ



校庭や芝生で体を動かして遊ぶ子どもが増えました。

校舎内外の環境を見直し、子どもたちが遊びたくなるような場を工夫しました。

めざす子ども像（体育科や遊びを通して）

- ・ルールの必要性・大切さを知り、守ろうとする子
- ・自分の気持ちや考えを言葉で伝え合って物事を解決する子
- ・毎日運動に励み、健康・体力を高める子
- ・集中して学習に取り組む子

子どもたちが自然に体を動かしたくなるような環境の中で集団遊びに取り組むことは、児童の主体的な動きを引き出し、相互の関わりを深めます。また、体育科においてもこの環境を活用した授業をすることができます。

このような子ども同士のつながりを大切にした取組は、他教科の学習の中でも生きてきます。